



I will love you, a big and

何度でも、君を

Genshin Impact Fanbook  
Xiao x Aether/AONOHANA

R18  
adult only

間章第二幕「陰路怪跡」後の話です

Twitter、Pixivに載せている作品  
(魍空、魍空R18のはなし、魍空3、魍空漫画)の  
一部コマを使用している箇所があります。

読まなくても問題ないようにしてありますが  
よかったら読んでいただけると嬉しいです



魃が  
記憶喪失!?



原因が何かは  
正確には  
わかりません

ですが  
心当たりのある  
事件がありました



仙人である魃が  
何で記憶喪失に  
なったんだ?

でもよお



降魔大聖は今  
一部の記憶が  
欠けている状態に  
あるという事です

記憶障害と  
言った方が  
正しいかもしれぬ



事件?



報告を受けた七星は  
すぐに調査のため  
千岩軍を派遣したのですが



はい

少し前に  
層岩巨淵の上層部分で  
とても強い地脈の乱れが  
起こりました



到着したときには  
すでに地脈の乱れは  
収まり

周囲には  
大量の  
魔物の死体と

少年の姿をした人物が  
立っていたそうです



その人物は何も言わず  
その場から  
去ってしまったので

七星は私に  
降魔大聖に当時の状況を  
詳しく確認してくるよう命じ

私は降魔大聖の元へ  
向かいました



その人物が誰？

はい。  
降魔大聖と  
同じでしたから





その記憶障害って  
治るのか？

——わかりません

いくつか治療法の  
ある人間でも

地脈によって負った  
障害は治らないことも  
ありますから



なあ、旅人  
魍に会いに  
行かないか？

お前の話なら  
聞いてくれるかも  
しれないぞ

それに

最近の降魔大聖は  
とてもおだやか  
でしたが

記憶を  
失った今は

昔のように  
他者を寄せ付けなく  
なっています

私たちには  
何も手出しが  
出来ない状況です



魍の記憶が  
迎仙儀式以降は  
無くなってしまったのなら

俺とパイモンの事も  
忘れていると思う





でも  
鯉の事  
何もしないで  
いるのか？

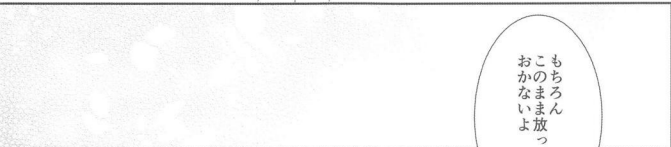


そうだった!!



俺たちが  
鯉に会ったのは

迎仙儀式の  
後だったから



もちろん  
このまま放っては  
おかないよ



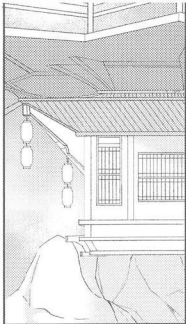
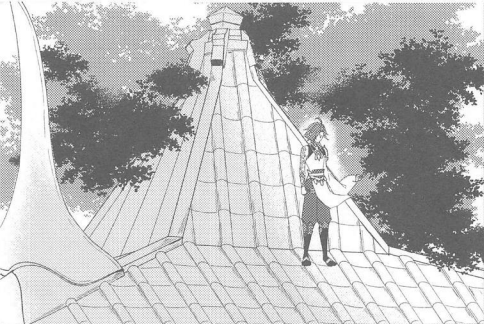
姿を見せてくれるかは  
わからないけど

会いに行ってみよう

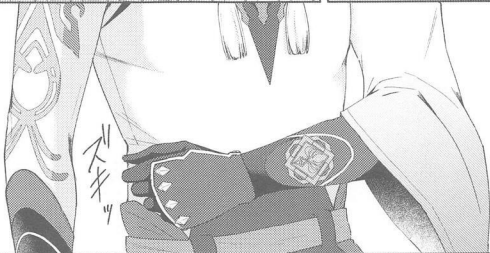
何  
度

で  
も  
君  
を





つく……



なくらかマシには  
なってきたか……



少し前

気が付けば  
層岩巨淵の洞窟に  
立っていたことがあった

全身から溢れる  
業障の様子から

そこで戦闘が  
あったのは  
確かだったが

何も覚えていなかった



消えた記憶について  
粗方聞いたが

今後警戒は  
必要だが

我が対応すべきことは  
特にな




「何か」が足りない  
気がしている



一体何だ？



我は  
何を忘れてる……？




ここに  
いるだけじゃ  
魎は現れないか？



なあ

前みたいに  
杏仁豆腐を  
作ってもらおう？

いい考えだな！



ついでに  
オイラの分も  
作ってもらえないかなあ



我の話をしている……

……



お前たち

何者だ？

魓！



魓……

やっぱり  
オイラたちの事  
忘れちゃったんだな



どこで我のことを  
聞いてきた？



……



俺は空。  
こっちはバイモンだよ



…人間にとって

今の我は  
毒のようなものだ

近づきすぎるのは  
…良くない

だからって  
怒らなくても  
いいだろう！

旅人はお前と  
一緒にいても  
業障の影響を  
受けないんだぞ！

そうなのか？

うん

俺は平気

謝る必要はないよ

今の魍が  
どんな状態なの  
わかってるから

…そうか  
声を荒げて  
すまなかった



うん

お前たちが  
そうなのだな？

璃月七星、そして  
我ら仙人と共に  
魔神オセルと  
戦った者たち



空という名は  
他の者からも聞いた



私は忘れてしまっ  
ているが

我とお前たちには  
少なからず  
縁があったようだ



上手く説明が  
出来ないが

頭の中にはお前の  
記憶はなくても  
知っている

そんな気が  
している



何より  
お前の気配は…

俺の気配？



おお!

そうかもしれない

完全に忘れてしまったわけではないってことなのかな?



人の少ない場所なら  
かまわない

體、俺と一緒に  
来てくれる?



それじゃあ  
旅人と一緒に  
いろんな所を巡れば  
思い出すんじゃないか!?

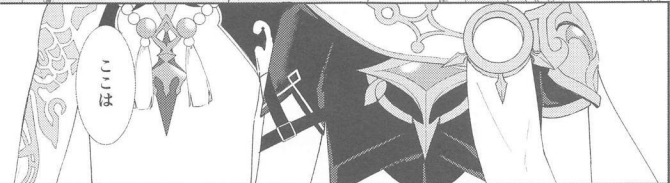
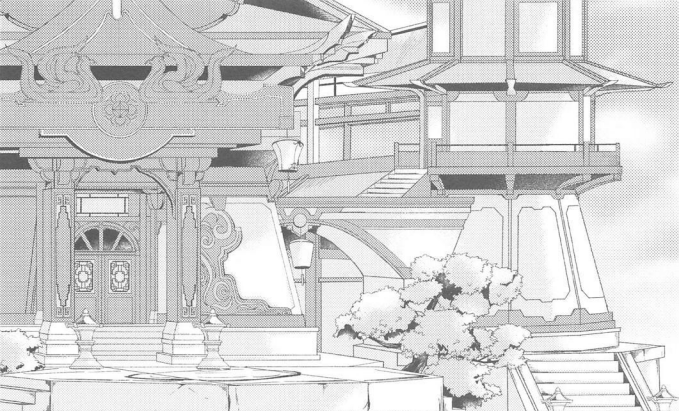
可能性は  
あるね




大丈夫


限られた人しか  
行けない場所だから









あの時甦は  
俺に仙人の力を  
貸してくれた




それから  
オセルの攻撃で  
足場が崩れたときに  
助けてくれた



何か  
思い出せそうな  
ことはある？




……  
はっきりとは  
思い出せない



誰の手  
だったのかは

……わからない



だが、誰かの手を  
掴んでいた覚えはある



一緒に行った場所を  
順番に回ってみよう



!!

—最後は

...



ここは？



あの小さいのは来ないのか？

二人？



俺と魍の二人だけの秘密の場所

かな



—それで

そうか



パイモンは俺と魍を気遣ってくれてここには来ないんだ

オイラは理解のある相棒だからな!!

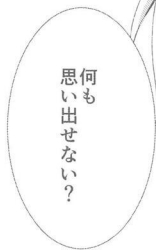
やっ

いつも別の場所に  
いるよ



この家で

我とお前は  
何をして  
いたんだ？



何も  
思い出せ  
ない？



じゃあ

っ



そっか



…すまない

思い出せ  
ない  
ようだ



教えてあげない



俺のことを  
忘れた罰…かな

少しぐらい

意地悪しても  
いいよね？

目の前の人間は  
笑っているのに



何故か

泣いているように  
見えた



彼を悲しませて  
いるのが  
自分である  
という事に

胸が  
苦しくなる



原因は  
我

…なの  
だろう

あちこち  
回ったから  
さすがに  
疲れちゃったな



何だ？

そうだな



業障の  
苦しみとは  
違う

今日はもう  
休むよ

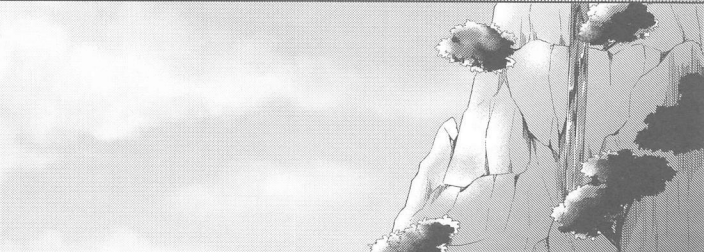
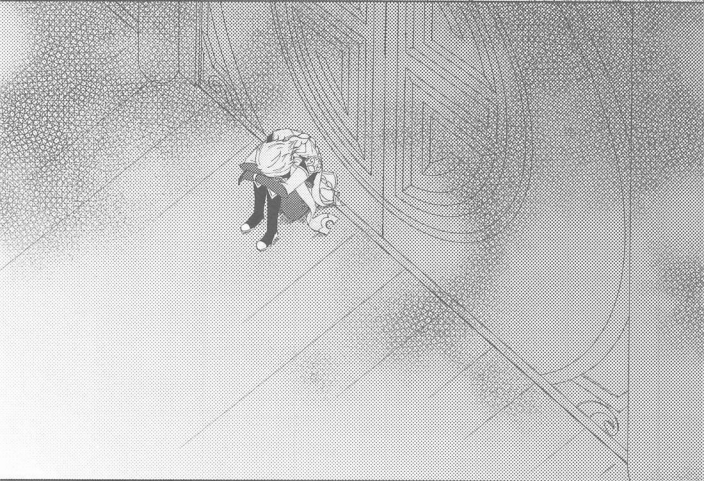
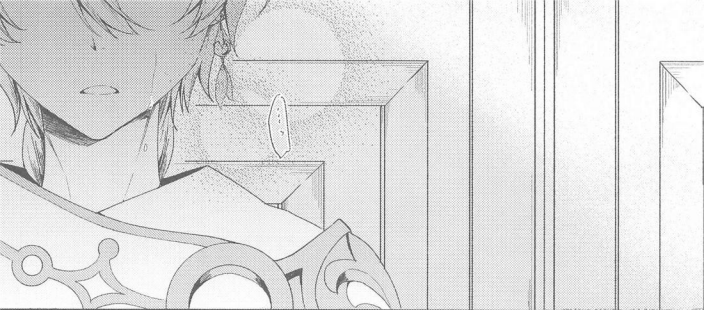


魘は璃月  
でしょ？

この胸の  
痛みは

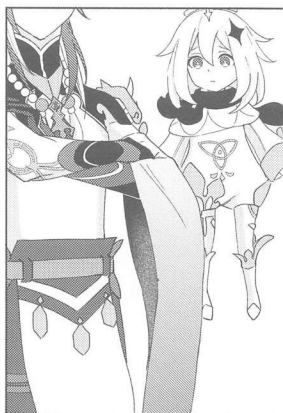
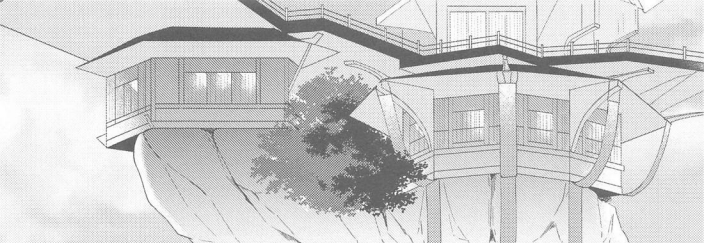







でも  
君を

何  
度





オイラたち  
ここ数日  
一緒にいたよな？

何も  
思い出せないのか？



旅人のこと

少しでも覚えて  
いないのか？




だが


明確に  
思い出したことは  
まだない



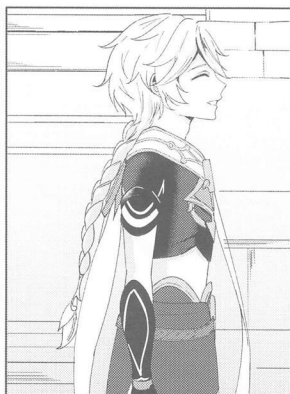
そっか…




旅人は  
お前やみんなの前では  
平気な顔をしてるけど



かすかに覚えが  
あることはある







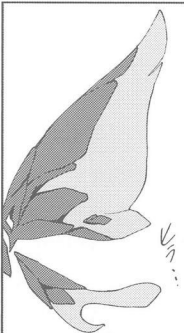
手がかりがないかと  
地脈の乱れが  
起つた場所  
行ってみるに

何も  
収穫はなかった

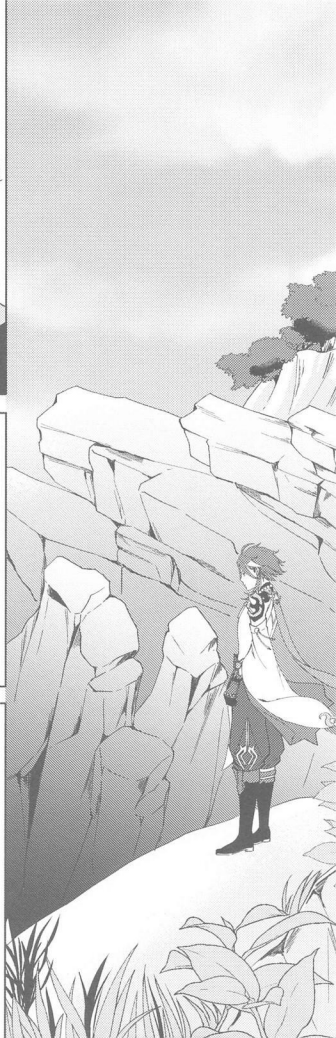
まだ今は  
頭の中に霧がかかった  
ような状態だが

もしかしたら

少しづつ  
晴れてきているかも  
しれない



きっとかけになるものが  
一つでもあれば  
思い出せそうだが…









我がどうかしたか

オイラも  
そう思うけど…



記憶が  
戻りそうな  
場所を  
巡っていた

今までどこに  
行ってたんだよ！



魘！

うわあ！



だが…

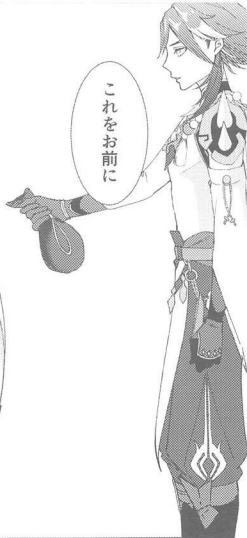
グム…



私の記憶に  
関しては  
これといって  
進展はなかった



何か変化はあった？





ごめん…

前にも同じことが  
あったなと思って

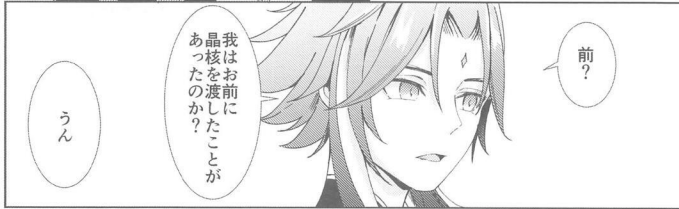


ふふっ



くっくっ…

何がおかしい？



前？

我はお前に  
晶核を渡したことが  
あったのか？

うん



笑ったのは  
抑揄っている  
わけじゃないんだ

無自覚に同じ行動を  
していたのか我は…



そのときも今と同じように  
捕りすぎたって言ってた

し  
なっ…



：お前が  
喜んだのなら：

いい



すごく：  
嬉しくて

ありがとう

又



これからどこかに  
行くのか？

璃月港の  
冒険者協会に  
行くんだ

その後  
万民堂に寄って  
香菱に会ってくるよ



いや

我は  
ここで別れよう

だが



新作料理を  
作ってくれる  
んだぞ！

魑も一緒に  
来るか？



危険な目に  
遭った時は  
我の名を呼べ



必ず

駆けつける



うん

俺と魓の

約束



どうした？

？



約束？

俺とまた  
約束して  
くれるの？



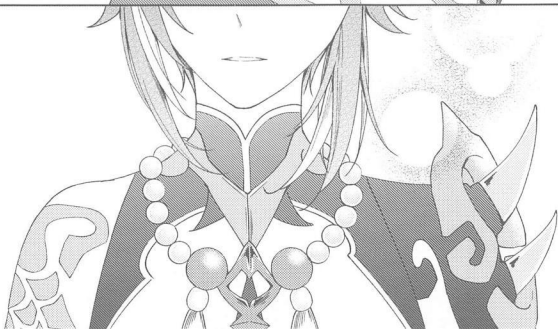
記憶が  
戻らなくても

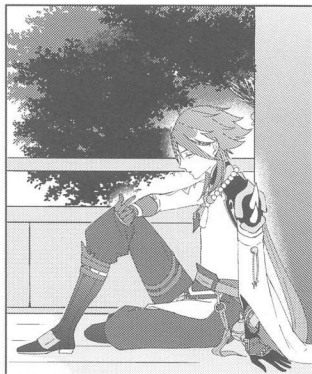
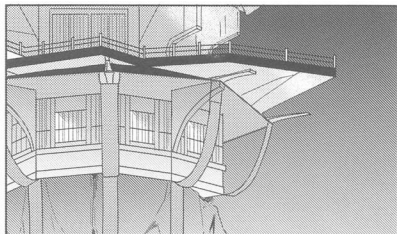
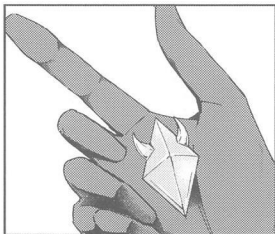
思い出を  
忘れてしまっても

臆に俺の  
声が  
届くのなら

俺は  
それだけでいい

十分だ









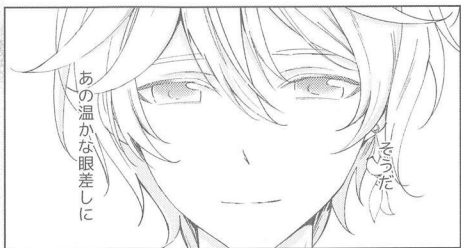
体を蝕む  
業の苦しきも

頭に響く  
怨嗟の声も

彼の傍では

すべて  
消え去った

あの笑顔を 我は知っている



あの温かな眼差しに

そっか



我は惹かれていった

『後悔なんてしない』



『君を頼っても  
いいかな』

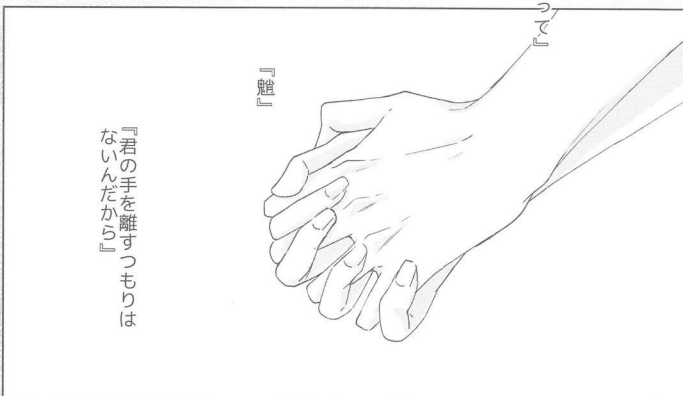


『俺は』

『魍から離れない』



『一緒にいたいんだ』



『俺だって』

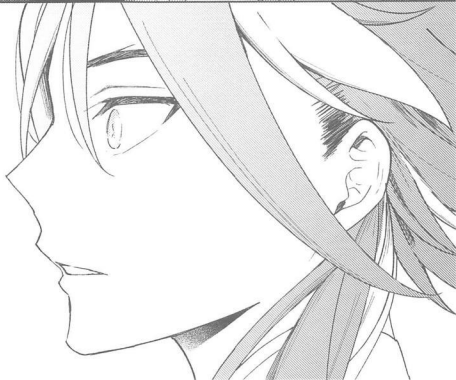
『魍』

『君の手を離すつもりは  
ないんだから』



魍

君のことが  
好きだ



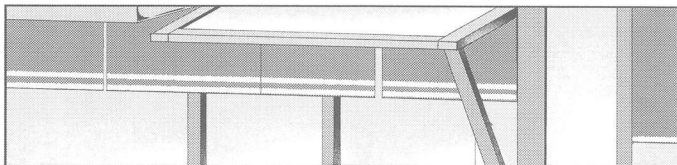


空…!!

あの声が

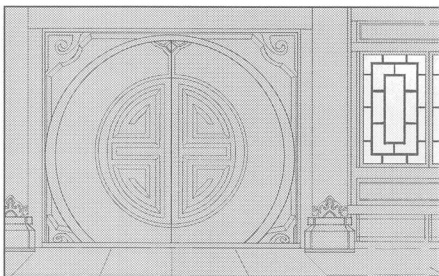
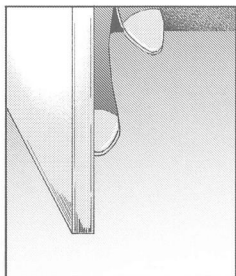
いつだって

私の闇を晴らしてくれる

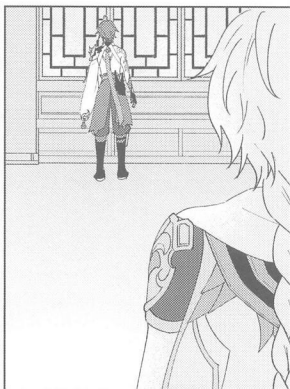




體が待っている  
気がするんだ



お前を  
待っていた





辛い思いをさせて  
悪かった

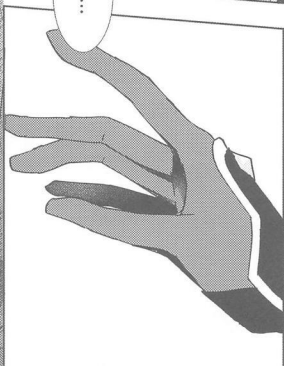


そんな気がした

…うん



空…

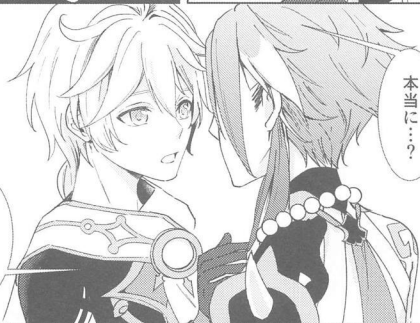




思い出した



全部



本当に…？

ああ



お前が我に  
教えてくれたこと

すべて



—よかった

約束だけで  
十分だから  
言ったけど

やっぱり  
思いかって  
欲しかった

俺を好きになっ  
てくれたこと

忘れたままなのは  
嫌だった

記憶が戻って  
気が付いたのだが

我は  
お前を好きだと  
思う気持ち

忘れては  
いなかった  
ようだ

どういう事？



それは誰かを……  
お前を愛おしく思う  
気持ちだったと

気がついた



大事な何か  
が  
欠けている感覚が





何度でも

お前を愛する



我は

必ず  
お前の元に戻る

闇に吞まれようと

たくさん文句を  
言ってるやろうと  
思ってたのに

記憶が  
戻ったら



お前の叱責は  
いくらでも  
受け入れるぞ

…もう

いいよ



言えなくて  
するなんて

魍はズルい



それより

ねえ、魍



この場所で俺と魍が  
何をしていたか

思い出した？

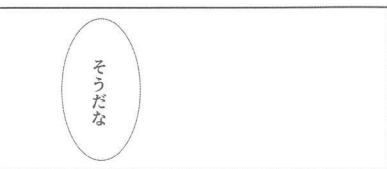


じゃあ今夜は  
一緒に過ごす？

ここで



もちろんだ



そうだな



そうするとしよう



オイラの事を  
忘れるなんて！

ひどいぞー！



昨日は  
辛炎と雲童が店に来て  
みんなで香菱の所に泊まって  
すっごく楽しかったけど…

香菱が作ってくれた  
朝ごはんが  
すっごく上手かったけど…

でもオイラは  
怒ってるんだからな！

バイモン  
本当にごめん




何でも？

迷惑を掛けた詫びに  
望舒旅館のオーナーに  
お前たちにも  
なんでも好きなものを  
食べさせてやるよう  
頼んである



今回の件は  
すべて私の責任だ





必ずお前の元に  
駆けつけよう

どこで  
あろうとな



うん

ありがとう



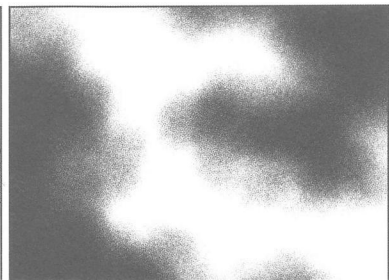
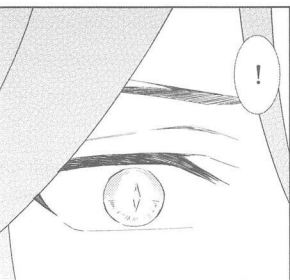
それじゃあ



パイモンが  
呼んでる

旅人ー  
行くぞー







では

我は役目を  
果たしに行く  
でしょう

我の中の  
闇が消えずとも

恐れることは  
ない



どこかに  
魔物が集まって  
いるようだな

我の心は  
光を忘れない

甘めのシーンが足りない！と思ったので  
塵歌壺でのえっちシーン追加で描きました。  
←次ページより始まります





あっ

んっ...!!

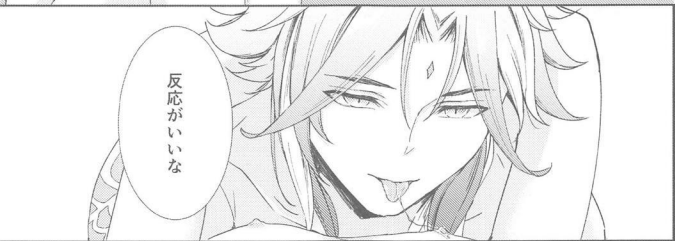


こうしてお前に触れるのは



初めてな気がしている

ちゅっ



反応がいいな



そうだったか?




臆が俺をそうしたんでしょ?

んんん



だから  
ちゃんと思い出してね



ここが弱いのも  
我のせいかな？



そうだよ



全部

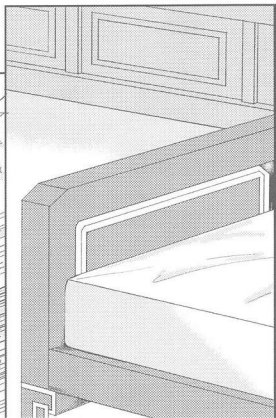


俺の弱い所



はまっ  
脛のせい

魘だけが  
知っているんだから





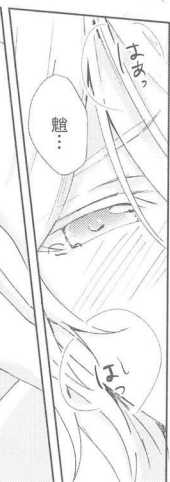
い…から

だが…



今日は

中…に  
出して



魘…

すま…

ふっ





消えたら  
また…

何度でも  
残して

お願い



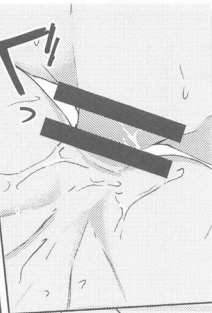
魍の跡

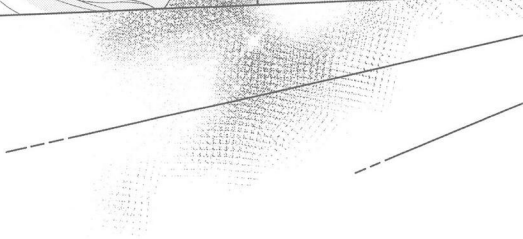


…わかった



俺の中に  
残して？





感想をいただけたらとても嬉しいです。  
こちらのQRコードからwaveboxにアクセス出来ますので  
よかったら宜しくお願いします。



<https://wavebox.me/wave/altyajme3yffiioe/>

この本は個人による非公式のファンブックです。  
公式とは一切関係はありません

無断転載・複製  
(SNS・ネットオークション等)インターネット上への掲載は禁止しています。

This book is a fan-work, which does not represent any official point of view.  
I wholly prohibit the following acts concerning this book:

- ・Uploading on website or any other social media.
- ・Putting up for auction (such as Yahoo! auction,eBay).
- ・Resale

Thank you for your cooperation.

発行日 2023/02/23  
発行者 あおは/AONOHANA  
(Twitter:gura\_aoha Pixiv:1190568)

印刷所 金沢印刷様

will love you, again and again

何度でも、君を

Genshin Impact Fanbook  
Xiao x Aether/AONOHANA

